

日根野中だより

令和6年1月22日発行 日根野中学校 校長 武田 博之

最後は自分の強い気持ち…「志」

今、心に何か重いものを抱え生活している人も多いのではないのでしょうか？…正月早々に起きてしまった能登半島地震…世界各地で今も尚続く戦争…その悲惨な惨状に心痛めている人も多いかと思えます。「逆境」の真っ只中…ただ一人もがいている…そんな気がしているのではないのでしょうか？こんな時、大切なのは、それでも自分は「こうありたい！」と思えるかどうか…。最後はその強い気持ち「志」が、自分の人生を切り拓いていく「原動力」になります…。

今週1、2年生は復習テスト、3年生は学年末テストがあります。3年生にとって日根野中学校でのテストはこれが最後…。強い気持ちで挑んでください！

<歩みを止めない！…>

目指す山頂に絶対立ってやる…

その強い思いがあればこれからの日々
どんな困難にも耐え抜くことができる…

今、大切なのは…あきらめないこと…

歩みを絶対止めないこと:がんばれ！

目指す山頂に
絶対立ってやる!!
その強い思いがあれば
これからの日々
どんな困難にも
耐え抜くことができる
あきらめないこと
歩みを絶対
止めないこと

1/24~30 全国学校給食週間です: 歴史を学ぶ良い機会だと思います

我が国における学校給食は、明治22年に始まって以来、各地に広がっていききましたが、戦争の影響などによって中断されました。

戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に学校給食の再開を求める国民の声が高まるようになり、昭和21年6月に米国のLARA(ララ)(Licensed Agencies for Relief in Asia: アジア救済公認団体)から、給食用物資の寄贈を受けて、昭和22年1月から学校給食が再開(「学校給食実施の普及奨励について」昭和21年12月11日文部、厚生、農林三

省次官通達)されました。同年12月24日に、東京都内の小学校でLARAからの給食用物資の贈呈式が行われ、それ以来、この日を学校給食感謝の日と決めました。昭和25年度から、学校給食による教育効果を促進する観点から、冬季休業と重ならない1月24日から1月30日までの一週間を「学校給食週間」としました。(今年度本市では1/15~19の間)子どもたちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取、肥満傾向など健康状態について懸念される点が多く見られる今日、学校給食は子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。まずは美味しく有り難くいただく習慣を!日根中では基本的なところから呼びかけ、取り組みを進めています。

3年生にとって、さみしい話にはないですが…

1/25(木)に、現小学校6年生の保護者の方々に向けての入学説明会を開催します…

今週の25日(木)入学説明会を本校体育館にて行います。何もかも科学技術の進歩でメール配信・ホームページ更新で十分伝わるのではないかという意見のある中ですが「大切なスタート」を切る第一歩…そう考えると、その内容は言葉で伝えたい…そんな思いで実施しようと考えています。ご意見は承知の上で、ご理解ご協力をお願いします…。

「入学説明会」と聞くと…3年生にとっては本当にさみしい話ですが、学校はすでに来年度に向かって歩みを進めています…。卒業式もまだ迎えぬまま、次年度に向かってスタート切る…この入学説明会にはそんな意味があります…。ただ、特に3年生の先生方の思いは、そんな簡単に割り切れるものではありません。そんな思いをしっかりと受け止め、残り30日余り…一日一日しっかりと生活してください!

先生たちの「心の風景」…

今だから伝えておきたいことが溢れます…

それだけ共に過ごした三年間は大きく、そして大変深いもの…

残り30日あまり…お互い今はつらく苦しい中ですが…あえて視線を上げて周囲をしっかりと見て感じてほしい…

そんな中、心の目で見えてくるものを、大切に残り僅かの学校生活を送ってほしい…そう願います…

人が人である理由は…
心にあると思います…
人として生まれ…
人であることの最高の喜びは…
尽くしたいと思う人に
尽くしきれること…と思う